

石徹白 薙刀山(1647m)

2012年4月8日(日) 晴れ

L:磯部S、磯部N、福嶋、川瀬、ふじ、池田T

道の駅白鳥で仮眠、芝生の上で快適なテントサイト。
翌朝、凍結も無い桧峠越えで石徹白 P に到着、混んでいる…。やはり人気だ。
山スキー、登山者、後からわかったがボーダーもいる。



和田牧場跡の雪原から見た、野伏ヶ岳
刀山

のびやかな薙

最初から雪の林道歩き、スキー組も快適、トレースを追ってショートカットを繰り返しながら 1 時間で和田
牧場跡に到達、

広がる白い世界に感激する。ここはまだまだ雪が楽しめる。

野伏ヶ岳へはシンプルなルートだが、薙刀へは一度沢筋に下りてから登り返すという、ルートファインディングが面白い。野伏の北東斜面を巻きながら緩やかに登っていく。やがて推高谷（したかだに）にぶつかり右岸をつめ、急傾斜になったところで沢に下りた。雪も安定していて雪崩の心配は無い。

二股を右に取り、主稜線が見えてくる。じきに少し傾斜が緩くなってきた左岸に取り付き一気に登りつめたところは実にすばらしいテントサイトだった。

雪洞が幾つも掘れる斜面もあり、ふじさん曰く“交流山行にばっちりでしょう！”も、納得のいく発言だ。



奇怪な雪庇、なるべく樹木側を歩く

と影

光

緩やかな主稜線は、東に大きく雪庇が発達していて注意が必要だ。結局、和田牧場跡から頂上までワカンが必要だった。

最高の天気、移動性高気圧の下で風もわずか、温かく、なんて私たちは運がいいだろう。気持ちが表現されたポーズで記念写真を撮る。



感情がほとばしった頂上ポーズ！

気持ちよく

下る

頂上からスキー組は、主稜線東の斜面をトラバース気味にあっというまに気持ちよく滑って行った。我々はちょっと悔しくピストンだね。

正面に見える野伏は美しかった。途中でスキー組は待っていてくれて、和田牧場跡でみんなで大休止。

コーヒーのために、湯を再沸騰させ飲んだゆったりとした時間は、ころからくつろげ、雪の世界に溶け込んだ気分だった。・・・至福の時。



沢筋には、スキーの跡がいっぱい
イム…

至福のコーヒータ

下山の楽しみ、ふきのとうはまだ無かった。残念。

あっさり駐車場に着き、ウィッシュに6人全員乗って屋根に荷物を載せ、交通費をだいぶ浮かせて浜松に帰った。

<タイム> 石徹白上在所P(7:10)-和田牧場跡(8:20)-薙刀山(12:45~13:10)-和田牧場跡(15:10~15:40)-石徹白上在所P(16:35)

磯部S記

以上